

第38回勤労者福祉学習会

「地球環境問題」～私たちにできること～

2007年6月16日(土) 午後1時30分～4時

中部教育会館(倉吉市)

講師 鳥取環境大学 環境政策学科 衣川 益弘 教授



第38回勤労者福祉学習会を倉吉市の「中部教育会館」で開催しました。

現在の環境に関する関心は、日ましに高まってきている状況にあります。「私たちにできること」と題して鳥取環境大学 環境政策学科 衣川 益弘さんの講演をいただきました。

講演内容は今世界が直面している問題から、企業における環境へのとりくみを事例にもとづいて紹介がありました。酸性雨・砂漠化・オゾン破壊等地球温暖化問題に伴う気象変動の構造と、それに関わる私たちの意識について提言されました。また、環境経営で循環型社会に向けた企業のとりくみと方の整備など、経済至上主義からの脱皮について話されました。そして私たちにできることについて、「生活を見直すこと」「意識は変わったが行動が伴わない現実があること」を訴えられた後、グリーン購入の説明がありました。最後に、衣川先生より「毎日の生活パターンを見直し、変えてみませんか。その選択肢はあなたの決心しだい環境負荷が提言できる」と話されました。

地球環境の悪化は待ったがありません、すぐに一人ひとりが出来ることからやっていくことが必要だと強く感じた講演でした。

引き続いて中国労働金庫倉吉支店の磯江昌弘さんより労働金庫がとりくんでいる「生活応援運動・助け合い制度」について説明がありました。その中で多重債務の整理について相談体制の充実を図り支援体制を確立していること、多重債務を未然に防止することを重点にしてとりくんでいることの紹介がありました。

また、全労済鳥取県本部推進企画課の菅野 淳さんより“大切な住まいと家族の安心のために”と題し、火災共済について仕組みと問題点について説明がありました。参加者の多くの方が理解を深められ全労済の優位性を認識しました。

以上途中15分の休憩を入れ、4時に終了しました。



労金 磯江講師



全労済 菅野講師

